

審 議 会 等 会 議 録

○平成 28 年度第 2 回久喜市総合教育会議

発言者	会議のてん末・概要
-----	-----------

1 開 会

司会（関口企 画政策課長）	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから平成 28 年度の第 2 回久喜市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、ご了解いただきたい点が幾つかございます。</p> <p>これまででもご了解いただいているところがございますが、本会議の公開、傍聴、会議録の作成及びその公表、会議録作成のための録音につきましてご了解をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、会議録の署名につきましてお願いいたします。</p> <p>市長及び市長が指名する 1 名の構成員が署名するものとしておりますので、市長から会議録に署名いただく、構成員の指名をお願いいたします。</p>
田中市長	<p>それでは、会議録の署名につきましては、名簿順をお願いをしているところでございますので、今回は狩野委員をお願いしたいと思います。</p>
狩野委員	<p>わかりました。</p>
司会（関口企 画政策課長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、今回の会議録の署名につきましては、田中市長と狩野委員にお願いいたします。</p> <p>なお、会議録につきましては、作成次第、教育委員の皆様へ一度郵送の上、ご確認をいただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>

2 市長あいさつ

司会（関口企 画政策課長）	<p>それでは、次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>初めに、田中市長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>市長、お願いいたします。</p>
田中市長	<p>皆さん、こんにちは。第 1 回の総合教育会議につきましては、本年 6 月 29 日に実施をしております、今回は 2 回目の総合教育会議になります。</p> <p>ご出席いただきましてありがとうございます。</p>

日ごろ本市の教育行政の推進につきましてご尽力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げる次第でございます。

さて、東京理科大学経営学部につきましては、本年3月をもって久喜キャンパスから神楽坂キャンパスに全面移転をしたところでございます。

その跡地につきまして、7月に敷地の約4割と校舎棟や特別教室棟などの建物が本市へ無償譲渡されております。既に登記簿におきましても久喜市の所有となっております、法的にも久喜市の財産になったというところでございます。

この敷地及び建物でございますけれども、敷地面積についてはおおむね約5万3,000平方メートル、建物の延べ床面積は約1万3,500平方メートルでございます。

建物につきましては、この本庁舎と比較してみますと約1.8倍の面積になるわけでございます、実際に校舎に行きますと、本当に広く、大きいということを改めて感じるところでございます。

この活用方法が大事でございますけれども、庁舎内はもとより、市民の皆様から寄せられたアイデアあるいはパブリックコメント等々で意見を求めたところでございますけれども、その結果、子育て教育センターを主な機能として、教育部の事務所や生涯学習センターなど複合的な施設として活用することといたしまして、本日、久喜市議会に対しましても、午前中でございますが、報告をしたところでございます。

東京理科大学は高等教育機関でございましたので、それに類する施設利用が、跡地の利用として望ましいという意見が大半であったように思います。

さらに、東京理科大学から市の教育行政に資することを目的といたしまして1億円が寄附をされております。

これも既に久喜市に振り込まれているところでございます。この寄附金につきましては、新たに設置をいたしました東京理科大学教育振興基金に積み立て、久喜市立小中学校や久喜市立図書館、図書室の図書の整備、今後、理科大久喜キャンパス跡地に整備を予定しております、仮称でございますけれども、子ども図書館の図書の整備に活用してまいりたいと考えております。

どうぞよろしくお願いを申し上げます。またご意見等も伺えればと思っております。

さて、本日のこの会議では、特にコミュニティ・スクールにつきまして、地域と学校のかかわりに関連する事項となりますことから、それぞれの教育委員さんとしての皆様のさまざまな立場から、このコミュニティ・スクールに対する考えをお伺いしたいと思っております、意見交換をお願いをしたいと思っております。

<p>司会（関口企画政策課長）</p>	<p>限られた時間ではございますけれども、本日の会議が有意義なものとなりますことをお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
---------------------	---

3 教育長あいさつ

<p>司会（関口企画政策課長）</p> <p>柿沼教育長</p>	<p>続きまして、柿沼教育長からご挨拶いただきたいと存じます。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>先般市長から平成 28 年度第 2 回の久喜市総合教育会議の開催のご案内をいただき、本日は教育委員の皆様とともに出席をさせていただきました。</p> <p>田中市長におかれましては、日ごろより教育行政に対する深い理解とご支援をいただいておりますことに、この場を借りまして心から感謝を申し上げます。</p> <p>特に今年は、長年の悲願でありました空調設備、エアコンを全小中学校の全教室に設置をしていただきました。まだ周辺市町では設置がされていないわけですが、いち早く設置をしていただき、利用する児童生徒はもちろん、保護者や地域の皆様にも喜んでいただいているところでございます。</p> <p>また、急速な社会の変化に対応できる子どもたちを育てるため、タブレット端末の導入につきましても計画を前倒しし、本年度中に全校設置、全校導入ができる見通しとなっております。</p> <p>また、英語教育につきましても、本年度、英語のアシスタントティーチャーを 2 名増員していただき、過日、菖蒲小学校で小学校英語の先行研究についての発表をしていただきましたが、教科化に向けた準備も今進めているところでございます。</p> <p>これらは、市長の No. 1 宣言にもありますけれども、先行きが不透明、厳しい時代が予測される。今後の日本を救えるのは、最終的には教育であろうというふうに考えますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>本日予定されております協議・調整事項の 1 つ目、2 つ目は、東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用ですが、3 つ目がコミュニティ・スクールについてでございます。</p> <p>2 年間、コミュニティ・スクールについてモデル的に研究する学校とし</p>
----------------------------------	--

<p>司会（関口企画政策課長）</p>	<p>て指定をしておりました太東中学校区の太田小学校、久喜東小学校、太東中学校の研究発表が、先週ございました。</p> <p>ご参加いただいた教育委員の皆様もいらっしゃるわけですが、コミュニティ・スクールは今後の久喜市の学校のあり方、教育の方向づけになるものと受けとめています。そういうことから、市長と私ども教育委員会が課題を考え、共有することは、大変意義あるものというふうに考えております。</p> <p>結びに、本日の会議が久喜市教育の進路を見出せる非常に大きいものとなりますことを期待しまして、教育委員会を代表しての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。事前に送付をさせていただいておりますが、平成 28 年度の第 2 回久喜市総合教育会議の次第、資料 1 といたしまして東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画、資料 2 といたしましてコミュニティ・スクール 2016、資料 3 といたしまして太東学園がスタート。</p> <p>以上、次第を含めまして 4 点でございますが、お手元でございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う人あり〕</p>
<p>司会（関口企画政策課長）</p>	<p>ありがとうございます。</p>

4 協議・調整事項 （1）東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画について

<p>司会（関口企画政策課長）</p>	<p>それでは、次第の 4、協議・調整事項に入らせていただきます。</p> <p>久喜市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定によりまして、総合教育会議は市長が招集し、その議長となると定めております。このようなことから、田中市長に議長をお願いいたします。なお、議長として会議を進行していただきますけれども、あわせて協議・調整にも加わっていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、市長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>田中議長</p>	<p>それでは、これからしばらくの間、私が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず初めに、（1）、東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画についてでございます。</p>

<p>山崎企画政策課課長補佐</p>	<p>資料1をご覧いただきたいと存じます。この件につきましては、企画政策課のほうから説明をしてください。</p> <p>それでは、まず(1)、東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画につきまして説明をさせていただきます。恐れ入ります。着座にて説明をさせていただきます。</p> <p>まず、この当該跡地、東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用にあたりましては、平成28年2月より市内において検討を進めてきたところがございます。この東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画としまして、全体の基本的な活用計画の取りまとめを行いました。</p> <p>それでは、資料1、東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画に沿って内容の説明をしたいと思います。</p> <p>この当該跡地の活用にあたりましては、基本的な考え方として、子育て支援並びに教育の充実を主軸とした有効活用を図ることで、若い世代にも選ばれる魅力的なまちづくりを推進することとしたところがございます。</p> <p>まず、資料の1ページ、全体平面図をご覧いただきたいと思います。</p> <p>先ほど市長の挨拶にもございましたが、当該跡地の敷地は約5万3,000平方メートルと広大な敷地でありますことから、その有効活用を図るため、敷地南側の約1万2,000平方メートル部分に、新たに給食センターの建設用地を確保いたします。</p> <p>施設の概略といたしましては、市内全小中学校34校の児童生徒分となります調理能力1日1万2,000食、建築面積約4,500平方メートルの規模を想定しております。</p> <p>また、この給食センターの建設用地を確保することに伴いまして、約160台分の既存駐車場の削減が見込まれております。そのようなことから、校舎棟及び特別教室棟の活用を行った場合における来客者の駐車場は、敷地内に約300台分を確保する予定でありますので、点線部分で表示しておりますA棟につきましては解体、撤去しまして、新たな駐車場を整備いたします。</p> <p>次に、建物の活用でございます。施設名につきましては、全て仮称となりますが、まずB棟からF棟につきましては久喜市子育て教育センターとして、また敷地西側の特別教室棟につきましては久喜市生涯学習センターとして活用する予定でございます。</p> <p>それでは、図面によりまして各棟について説明をいたします。2ページの校舎棟1階平面図をご覧いただきたいと思います。</p> <p>まず、右下、B棟になりますけれども、こちらは久喜西児童館、子育て支援センターを設置する予定でございます。</p> <p>この施設は、久喜駅西側地区における児童館機能と子育て家庭の保護者</p>
--------------------	--

とその子どもを対象に、親子の交流の場を提供する地域子育て支援センター機能を有する複合施設として設置をするものです。

右上のC棟につきましては、飲食のできる市民ラウンジを設置し、市民の皆様へ開放いたします。

続きまして、正面玄関のありますD棟になります。こちらにつきましては、生涯学習課と文化財保護課の執務室を設置する予定でございます。次に、F棟の生協跡になりますけれども、こちらは市民ギャラリーを設置いたします。こちらにつきましては、久喜市民の豊かな芸術文化の発展を目指して、文化芸術鑑賞の機会と団体及び個人の成果を発表する場として設置するものでございます。

また、旧学生食堂は多目的ホールとして市民の皆様へ開放いたします。

その下の厨房跡になりますけれども、こちらにつきましては現在鷲宮6丁目地内にごございます久喜市シルバー人材センターを移転設置いたします。

続きまして、E棟になります。こちらは旧大学図書館となりますけれども、こちらは教育委員会所管の主に幼児を対象とした子ども図書館を設置する予定となります。

続きまして、3ページ、校舎棟の2階の平面図をご覧くださいと思います。

こちらになりますけれども、B棟からF棟までの全ての棟が教育委員会事務局所管となります。

まず、図面右下、B棟となりますけれども、こちらにつきましては学務課、指導課の執務室のほか、研修室、小会議室等を配置いたします。

右上のC棟の階段教室につきましては、教育ホールとして活用いたします。

続きまして、D棟につきましては、中会議室、教育長室、教育総務課執務室、大会議室を設置いたします。

続きまして、F棟になりますが、こちらはF棟の旧教職員食堂は校舎棟に入る全ての事務職員のための職員厚生室とし、E棟につきましては児童生徒を対象とした子ども図書館を配置する予定でございます。

続きまして、4ページ、校舎棟3階になります。こちらの平面図をご覧くださいと思います。

3階になりますが、B棟につきましては教育センター機能を設置いたします。

この施設は、一般的な教育センター機能だけではなく、乳幼児期から学齢期までの子育てや発達、教育に関する相談、支援体制を一元的に連携して対応することのできる子育て相談機能を有する複合的な教育センターとして設置をする予定でございます。

続きまして、右上、C棟の2つの階段教室でございますけれども、こちらにつきましては、いずれも視聴覚ホールとして活用いたします。

続きまして、5ページ、特別教室棟の平面図をご覧くださいと思います。

こちらにつきましては、全て教育委員会事務局所管の生涯学習センターとする予定でございます。

これは、本市の生涯学習の中核を担う施設として、市民の学習や文化芸術活動を支援するとともに、人づくり、地域づくりを総合的に推進するために設置するものでございます。

図面左側の1階になりますけれども、こちらにつきましては事務室等のほか、講堂、学習ホールは一般貸出しを予定しているところでございます。

続きまして、図面右側、上の2階の部分になりますけれども、9部屋全てを会議室としまして、一般貸出し用の部屋とする予定でございます。

続きまして、3階になりますけれども、こちらは高齢者大学、市民大学、ゆうゆうプラザなど、生涯学習関連事業での使用のほか、会議室、音楽室を予定しているところでございます。

以上が主な施設の配置の説明となります。

この活用計画につきましては、基本的な全体計画でございますけれども、今後それぞれの施設の機能を各所管部署において検討していく過程におきまして、施設の名称のほか、各棟、各部屋の配置についても変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承くださいと思います。

続きまして、図面から外れるのですが、今後の全体のスケジュールの説明させていただきたいと思います。

まず、この理科大の跡地の改修工事等につきましては、全体として工期を3期に分けて施工する予定でございます。

まず、先行して、教育委員会の事務局として一部供用開始する部分が第1期工事となります。今年度につきましては、一部供用開始のための設計業務を平成28年10月から平成29年3月まで実施をいたします。

そして、改修工事を来年度、平成29年6月から11月まで行いまして、教育委員会事務局の移転につきましては、平成29年12月ごろを予定しているところでございます。

次に、第2期工事といたしまして、先ほど申し上げましたA棟の解体撤去工事とその外構工事を行う予定でございます。これら第2期工事につきましては、その設計を今年度、平成29年1月から7月まで行いまして、工事につきましては平成29年度に実施をする予定でございます。

次に、第3期の工事となりますが、特別教室棟の改修工事、それと校舎棟、B、C、D、E、F棟、5つの建物の改修工事を予定しているところでございます。

	<p>これらの工事につきましては設計を平成 29 年度に行い、特別教室棟の改修工事は平成 30 年度に行いまして、生涯学習センターとしての供用開始につきましては平成 31 年 4 月を目指しているところでございます。</p> <p>また、校舎棟の改修工事でございますが、こちらは平成 30 年度から 31 年度にかけて実施しまして、平成 32 年 4 月の供用開始を目指して現在取り組んでいるところでございます。</p> <p>(1) については以上になります。</p>
田中議長	<p>今概略の説明がございました。</p> <p>今の説明の総事業費はどの位ですか。</p>
関口企画政策課長	<p>およそ 8 億 8,000 万円ほどです。</p>
田中議長	<p>ただいま申し上げました 8 億 8,000 万円ですけれども、それぞれの用途について説明がありましたけれども、詳細設計等々で、これから変わることも予想されます。</p> <p>また、この活用でどうかということも、パブリックコメントで市民からもご意見いただき、今日議会でこれを示したわけでございますので、11 月議会が 1 週間後に始まりますけれども、その中でもいろいろなご意見が出てくると思います。したがって、ただいま申し上げました 8 億 8,000 万円の予算ですけれども、概略ということで今日はご理解いただければと思います。</p> <p>そして、給食センターの施設につきましては、この中には一切入っておりません。これにプラスしての建設資金ということになりますので、よろしく願い申し上げたいと存じます。</p> <p>東京理科大学から、無償でいただいたわけでございますけれども、その後、活用につきましていろいろと調整をしましてまいりました中で、都市計画法上、いかに大学が恵まれた環境であるかということ強く感じました。というのが基本的に年齢が 10 代後半から 20 代の人が大学に集まる。しかも決まった人であるということです。</p> <p>ところが、ただいまのご説明でご理解いただけたと存じますけれども、赤ちゃんから高齢者まで不特定多数の人が毎日利用する施設ということになりますので、まずは防災上のことが都市計画法上問題となります。</p> <p>例えば、窓を広くとらないと、火事になって煙の逃げ場がないということございまして、そのための改修が思った以上にお金がかかるということで、8 億 8,000 万円の試算になっております。</p> <p>例えば大学生が使うということは、もう限定された図書、専門のものを</p>

扱うわけでございます。

したがって大学図書館に行きますと、高いところに階段に上って行って取るようなこともありますけれども、今回の子ども図書館ということでございますので、極端な話、本を普通に背表紙だけが見えるように展示したのでは子どもは取らないわけでありまして。

したがって表紙を見せるという展示になるわけでありまして、例えば同じ図書館でも、子どもたちが使うための図書館と大学生が使う研究の図書館とは全く違うということもございまして、これから具体的な設計に入ってまいりますけれども、その過程で、いろいろなことを聞きながらお話を進めていきたいと思っております。

また、B棟に設置予定の児童館につきましては、従来から久喜市においては吉羽地区に1カ所、それから鷲宮地区に1カ所ございまして、児童館の設置については、特に久喜の西側への設置についての要望は過去の議会でもたびたびございまして、そういったものを含めて、この中で解決ができればと思っております。

ただ、久喜市の西口あるいはほかの鉄道駅からちょっと離れておりますので、ここに至るアクセスをどうするのかということは、今日の議会の説明でも、このアクセスについては十分検討をしなければいけないということもお話をさせていただいたところでございます。

久喜市は、市民大学あるいは高齢者大学、いろいろ課題がございましてけれども、非常に盛んだということもございまして、この地図でいう一番下、特別教室棟、ここを生涯学習センターとして使用するということも予定しております。

ここは、ほとんど使用していなかったようです。

新品そのままのような状態でして、これは本当にびっくりするぐらい、いい環境ということが言えるかと存じます。

図面の中央にあるA棟、ここを解体・撤去するわけでございまして、この赤で点々となっておりますけれども、現在そこに建物が建っているということでございまして、ここを解体・撤去して224台の車を置く、また全体では300台分の駐車場を確保するという予定になっております。

また、この周辺は時折大雨によって道路が冠水をするというようなことがございました。市が無償譲渡を受けた以外の6割を占める部分に流通が入ってくるわけでございますけれども、こちらにつきましては従来の約1.6倍の遊水機能を持つ調整池をつくるということでございます。

ただいまお示しをいたしましたこの活用計画、全体の平面図も含めてですけれども、これらにつきましては、12月に入って、地元の清久地区の皆さんに対しての説明会も予定をしておるわけでございます。

私から補足をさせていただきました。

榎本委員	<p>それでは、ただいまの活用計画につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお伺いしたいと存じます。</p> <p>榎本委員さん、どうぞ。</p> <p>この計画で、給食センターが一括で久喜市内の小中 34 校分をここで賄うとなった場合、ほかの現在活動している菖蒲の給食センターとかの今後の活用方法。それと今、菖蒲の支所にある教育委員会がこちらのほうに移転するというので、そういった跡地というか、そういう計画というのはいかがなのでしょうか。</p>
田中議長	<p>給食センターのほうは、今後進めてまいりますけれども、予定どおり進めても、まだ数年かかるわけでございますが、菖蒲のセンターは比較的新しいものですから、その跡地を仮にこのとおりいった場合、どうするのかというのはまだ課題として残っております、まだそこまで議論が入っておりません。</p> <p>一部栗橋地区の小学校 2 校が自校方式というのでしょうか、そのほか久喜については全面委託でございますし、合併後もいろいろ異なった方法でやってまいりました。同じ市内の学校、児童生徒が違った方法でいつまでもというわけにはいきませんので、これを機会に私としては整備をしたいと思っております。ただ、今日までいろいろなご意見が、特に栗橋地区においてはございますので、丁寧に説明をしていかなければいけないと思っております。</p> <p>ただ、今回つくる給食センターにつきましては、本当に近代的な、衛生状態もよいものをもちろんつくるわけでございますので、いろいろご心配、あるいは懸念がある方につきましては十分現地を見ていただいて、ご理解いただけるよう努めてまいりたいと考えております。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う人あり〕</p>
田中議長	<p>それでは、今後いろいろなお話があろうかと思っておりますけれども、その都度ご意見等々も承りたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p>

4 協議・調整事項 (2) 久喜市東京理科大学教育振興基金について

田中議長	それでは、(2) の東京理科大学教育振興基金についてお願いします。
------	-----------------------------------

<p>山崎企画政策 課課長補佐</p>	<p>続きまして、(2)、久喜市東京理科大学教育振興基金について説明をさせていただきます。恐れ入ります。着座にて説明をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>こちらにつきましては、特に資料等の用意はございませんので、口頭での説明とさせていただきますと思ひます。</p> <p>この基金につきましては、先ほども挨拶にありましたとおり、市の教育行政の推進に資するということを目的としまして、東京理科大学から今年7月に1億円が寄附されたところでございます。そのようなことから、この寄附金を管理しまして、有効活用を図るために設置した基金でございます。</p> <p>この基金の活用方法でございますけれども、この基金の原資であります東京理科大学からの寄附金でございますが、市の教育行政の推進に資するという寄附金の趣旨に基づきまして、市の教育に係る事業において、広く公平に、かつ形として残るものの整備に活用してまいりたいという考えから、市の小中学校の図書の実充、整備に関する事業、また市立図書館・図書室の図書の充実、整備に関する事業、さらに東京理科大学久喜キャンパス跡地に整備を予定しております(仮称)子ども図書館、こちらの図書の整備に関する事業、こういったものに充当することを予定しております。</p> <p>続きまして、予算の関係になりますけれども、この基金を活用しました図書の整備に関する事業の予算措置につきましては、教育部で行うことを予定しているところでございます。</p> <p>最後に、基金の活用期間としましては、基本的には基金の残高を全て使い切るまでの期間ということで考えているところでございますけれども、来年、平成29年度からおおむね10年程度の期間を目安として活用してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>教育振興基金につきましてはの説明は以上となります。</p>
<p>田中議長</p>	<p>ただいま振興基金についての説明がございました。おおむね10年間、1年間に約1,000万円程度を一つの目安として、主に図書の整備を中心としてこれを活用していくという説明でございました。</p> <p>これにつきまして、何かございますか。教育委員会からは何かありますか、この件について。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う人あり〕</p>

4 協議・調整事項 (3) コミュニティ・スクールについて (意見交換)

<p>田中議長</p>	<p>それでは、続いて(3)のコミュニティ・スクールについてに参ります。</p>
-------------	--

<p>鹿児島委員</p>	<p>コミュニティ・スクールにつきましては、もう皆様ご案内のとおり、全国的に実施の方向で動いているわけでございます。埼玉県につきましては、全体としてはまだ少ないという状況でございますけれども、新座市、深谷市、川口市、そして久喜市、この4つの都市にとどまっているところでございます。どちらかという西高東低のような状況でございますけれども、埼玉県は慎重であるというようなことかと思えます。</p> <p>このことにつきまして、過日、太東学園でこれに向けての報告会がございました。</p> <p>この教育委員の中で、この間の太東学園のほうに参加された方は、鹿児島委員さんと坪井委員さんのお二人ようですが、そのことも含めて、はじめに鹿児島委員さんのほうからコミュニティ・スクールについてということでご意見をお願いいたします。</p> <p>今、市長さんからお話ありましたけれども、先週金曜日ですか、教育委員会委嘱後のコミュニティ・スクール研究発表会に坪井委員さんと一緒に参加したのですけれども、大変参考になりました。</p> <p>アミーゴでやったのですけれども、かなり多くの数が、200名を越える方が参加していきまして、地域の方も、私の存じ上げている、活躍している方がたくさん来ていきまして、これは非常に影響力があるなというふうに思いました。</p> <p>よかったのは、先進的に取り組まれたことで有名な三鷹市の元教育長さんがいるのです。この方は、コミュニティ・スクールのパイオニア的な指導者ですけれども、この人から大変温かいご指導をいただいて、非常に充実した発表会だったなと思えます。</p> <p>文科省のほうは、広めたいのが見え見えなので、やたら持ち上げていましたけれども、この貝ノ瀬先生は非常に温かい、よく理解できるようなご指導でよかったなと思えます。柿沼教育長の指導のもと、久喜市が埼玉で取り組んでいる9校のうちの3校に入っているということで、大変誇らしく、喜ぶべきことだなと思いました。</p> <p>コミュニティ・スクールは、平成16年に法律が改正されて、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度ができたわけですが、今までは教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることでできると、これは人事条項があったのです。</p> <p>これがあったので、現場も教育委員会も全国的にちょっと足踏みしていたということもあったわけですが、現在、文科省が教職員の任用に関する意見に関しては柔軟な運用を確保する仕組みを検討中ということなのです。</p> <p>そういうのもあるのかもしれないけども、広がりを見せてきたと思いま</p>
--------------	---

す。

いずれにしても、この間の発表会を聞いていて、非常に社会の変化が激しいものですから、子どもを取り巻く教育環境も変わっているし、やっぱり地域と一体となって子どもの健全育成をやっていかなければ、もうしようがないのだと感じました。これは、もう避けて通れないのだというふうなことを、私はそういう時期に来ているのだなと感じました。

よく文科省が言うところのコミュニティ・スクールは、地域とともにある学校づくりのツールだと、うまいことを言っていましたけれども、そういうことも理解できました。

今後、市内全体に広げていくわけですがけれども、ちょっと3点について簡単に、私の感じていることを言いますと、1つ目は、教職員はもとより、地域住民の多くの方にコミュニティ・スクールについて理解を深めること、これが大事だと思うのです。

教員でもわかっていない人がたくさんいます。今日は午前中、加須市の退職校長会の役員会に出席したのですが、加須市でもこれが話題になっていて、そういうことはやっていいのかとか、非常に問題があるのではないかという、そういう意見がたくさん出され、そうじゃないよと私は言ったのですけれども、元校長さんでもそういう意見が多かったのです。

そこで、そういう理解を深めること、それには太東学園とか三鷹市の事例で示された学校支援型、これが学校でやった学校モニター、これは久喜市ではどこでもやっていますから、この取り組みが私はやっぱり効果的だなと思いました。

いろいろなやり方があるけれども、この学校応援団組織を活発に行って、それでこのコミュニティ・スクールを進めていくのがいいのかなと思います。

日常的に地域住民が学校に出入りしますから、学校や教職員のことをよく知ってもらうことができます。だから、この方たちに学校運営協議会の制度をよく理解してもらって、PTAや地域にさらに広めていくというのが効果的なのかなと思います。学校支援型のコミュニティ・スクール、これを進めるのがいいのかなと思います。発表にあったようなやり方ですね。それでも、地域差がありますから、学校によっておのずから違ってくると思います。

2つ目は、学校運営協議会がうまく機能するかどうか、これはやっぱり管理職である校長先生とか教頭先生です。このことは教育長がよく把握していると思うのですが、校長によって理解が違うと思います。

全員が太東学園の3人の校長先生方のように理解していればいいけれども、そうではないと思います。理解が違ってくると思います。

そうすると、やっぱり管理職も理解を深めることが大事かなと思いま

す。特に校長のリーダーシップですね。

この間発表した3人のリーダーシップはすごいですけれども、こういうふうなものについて理解を図ってもらう必要があると思います。

それから、教頭先生が担当者になることが多いと思うのです。でも、教頭も忙しいでしょう。多忙ですから、地域コーディネーターとなる教員を養成することも積極的な参画を促す工夫が求められると思います。地域コーディネーターとなる教員の養成とか、いわゆる教職員の参加意欲、教職員にも理解してもらう必要があると思います。

あと、今日の資料やいただいた資料の中にもありましたけれども、文科省が行っているコミュニティ・スクール導入促進事業ということで、交流事業が出ていまして、その中で文科省が広めるためにいろいろなことをやっているようで、このような事業は教育長の指導で既に進めているのでしょうけど、これ広めるときにそういうのをうまく利用すればいいのかなと思います。

3つ目です。この貝ノ瀬先生が久喜市は小中一貫教育を基盤にしてコミュニティ・スクールに取り組んでおり、これは王道をいっているという話をしているのです。

だから、非常に正攻法でやっているのだというお褒めの言葉だと思うのですが、その際、その先生の指導の中で、小中一貫と小中連携は違うという話がありました。まさにそうだと思うのです。

だから、小中一貫と小中連携を混同している人もいるんじゃないかと。とにかく一緒に行事をやればいいんだと思っている方もいるかもしれない。小中連携をやれば、小中一貫が深まったような錯覚に陥る人もかなりいるのではないのか。

その貝ノ瀬先生の指導にあったように、基本的には9年間のカリキュラムをどうつくるか、そしてその共有化をどう図るかが要になるわけですから、そのところを教育委員会が指導して、指導課が指導して、しっかりやってもらう必要があるのかなと、こういうふうに思いました。

それから、今日いただいた資料の中にも、長野県の例で、一般教育で地域学習の充実というのがありました。

これも9年間地域について学ぶというような、総合などの授業もやっているところもあると思うのだけでも、そのように位置づけるのも一つの方法かなと感じました。

いずれにしても、発表会、非常によかったなと思っております。

以上です。

田中議長

ありがとうございました。200名を超えたのですか。

鹿児島委員	そうですね。
田中議長	では、それぞれご意見を伺った後、全体の意見交換に行きたいと思いますが、坪井委員さん、どうぞ。
坪井委員	<p>先日鹿児島先生と一緒に研修発表会のほうに出させていただきますと、コミュニティ・スクールのことについて、いろいろとお聞きしたことが大変参考になりました。</p> <p>今もお話がありましたとおり、法律によって追加条文が改正され、既に12年ほど経過しているわけですがけれども、全国的に見ても、まだコミュニティ・スクールが数少ない、埼玉県においても9校で、大変低い状況がある中で、久喜市としては3校が今年コミュニティ・スクールとして指定され、事業が始まったわけでありましてけれども、そういう点を考えますと、大変先進的なことだと思っております。</p> <p>ただ、現状、今までの状況を考えますと、地域の人たちや保護者も、学校のことは学校や先生に任せておけばいいのだという、そういう考え方が根強くありまして、加えまして最近の携帯やゲーム機、スマホの普及に伴いまして、親子でスマホやゲームに熱中するようになりました。</p> <p>特に運動会なんかを見ておられますと、運動会をやっているけれども、親がスマホで競技のほうには余り関心を示さないで、自分の子どもが出るとなると、カメラを持って駆けて行って写真を撮ってまわり、子どもが終わると、また席に戻って携帯やらスマホに熱中しているというような状況が見られており、ほかの子どもたちへの関心も非常に薄いし、親同士で話すことも少ないように思われます。</p> <p>また、学校の先生方も今のところ授業やその準備に精いっぱい、こういう新しいコミュニティ・スクールという仕組みへの取り組みにはまだちょっと抵抗感があるのかなという感じを受けております。</p> <p>コミュニティ・スクールは、今もお話がありましたとおり、学校運営協議会が設置されまして、運営基本方針の承認や運営についての意見、あるいは教職員の任用に関する意見を述べるできるようになったわけですがけれども、まだ具体的なやり方なり方法なんか模索中のような状態に感じております。</p> <p>地域とともにある学校へ転換することになるわけですがけれども、これからこのコミュニティ・スクールを円滑に進め、地域とともにある学校をつくるためには、学校と地域の連携が重要であり、できるだけ多くの人にかかわっていただきながら、今現在、学校や地域で抱えている課題について話し合いを多く持ちながら、具体的な目標を決めて、地域のみならず、地域の子どもたちを幸せに育てていくという機運を高めることが必要では</p>

	<p>ないかということを感じました。</p> <p>以上です。</p>
田中議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、榎本委員さん、いかがでしょうか。</p>
榎本委員	<p>コミュニティ・スクールですけれども、一応久喜の3校が取り組むということで、いろいろ資料とかも見させていただいたのですが、携わっている人たちが学校の教員の方、また地域という余りにも漠然とした表現でいて、よくよく考えてみると、子どもたちの親、保護者というのが、なかなかこういうのは参画できないのかなという、この組織図的に見させていただきますと感じます。</p> <p>P T Aとは書いてありますけれども、P T Aが、これがほぼほぼ役員さんの塊になってしまうのではないかなと思います。</p> <p>一番肝心な子どもの親というのがどこに存在するのかなというものがすごく心配でございます。</p> <p>共働きがどうしても多いこの時代ですので、実際に親と子どもとのコミュニケーションというのが薄いとは思いますが、その辺をしっかりと見据えて、親と子どもが離れないようなコミュニティ・スクールを建設していただければと思います。</p> <p>時間のある人というのは、どっちかというとい現役リタイア組で時間があって、逆にもてあましちゃっているような感じの方が、どこにそのパワーをとというと、聞こえのいい教育にみんなこぞってくるのが昨今でございます。</p> <p>そこに集まってきて、言い方申しわけないのですが、昭和の教育を受けた方が平成のゆとりの子どもたちをどうやって上手にやっつけられるのかという、その辺のジェネレーションギャップというか、その辺のバランスもとっていただかないと、家に帰って、核家族で育てている子どもが、学校で習ってきたって、「誰に教わったんだいって。」「70とかのおじいさん、おばあさんと。」という話になります。</p> <p>そういう時代が難しいのと、あとは中学生になると、当然受験というのがメイン中のメインですから、結局何が楽しいって、学校で勉強ができる子が一番楽しいわけです。勉強する場所ですから、究極の話は。</p> <p>そういうような仲良しで横で手をつないでいくような教育というのも、申しわけないけれども、小学校で終わりでしょう。</p> <p>中学校だったら少しそういう競争の世界も違って見るコミュニティとして捉えていただければと考えております。</p> <p>すごく聞こえはいいのですが、平均的に金太郎飴みたいな子ども</p>

	<p>ができちゃうような気がして、ちょっと怖いかなと思いました。</p> <p>後は、コミュニティ・スクールの目的、目標とその方法を見間違えないようにしないといけない。最終的な着地点までいかない。一生懸命やっている自分たちに酔いしれちゃって、答えまでいかない。</p> <p>例えば会議をたくさんやるとか、それこそそういう業界では有名な人の話について、その本人は満足するけれども、実際は子どもの話なので、だからなるべく外部の地域の人といっても、かなりボリュームのある地域の人たちの話を聞いて、コミュニティ・スクールを成立していただければなど、陰ながら応援してまいりたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
田中議長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>狩野委員さん、いかがでしょうか。</p>
狩野委員	<p>本年度から地域と保護者、また学校が連携しての小中一貫教育として太東学園がスタートしたけれども、今学校に通っている子どもたちとか、またその保護者がどのように感じているのかというのは結構わからない部分はあるけれども、先日太東中に通っている保護者と話す機会があったので、どのような感じか聞いてみたのですが、数検とか漢検を取り入れてくれたり、地域の交流などがあって、いいと思いますというような声を聞きました。</p> <p>一部ですが、そういう声を聞くと、協議会委員の方々が子どもたちのために真剣に考えて、いい方向に進んでいるのではないかなというふうに思っています。</p> <p>また、参考資料の中で、コミュニティ・スクールの学校で行われた熟議のテーマという中で、坪井先生とちょっと重複してしまう部分があるけれども、携帯電話の取り扱いについてというのがちょっと気になりまして、私も中学生の子どもがいるのですが、携帯電話、結構みんな友達が持っていて、うちの子は持たせていません。</p> <p>というのは、やっぱりトラブルとか、いろいろそういう原因にもなるので持たせていないわけですがけれども、その辺を熟議していただいて、いじめやトラブルの回避につながるようになっていけばいいのではないかなと思っています。</p> <p>今後課題等もあると思うのですが、その地域、家庭、学校が連携して、すばらしい学校もありますし、子どもたちのためになる取り組みになってくれればいいのではないかなと思っています。</p> <p>以上です。</p>

田中議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま4名の教育委員さんのご意見を伺ったところですが、柿沼教育長いかがでしょうか。</p>
柿沼教育長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今急激に社会が変化して、これからの時代を考えたときに、これを救えるのは教育だという話をよく聞いて、私も事実そう思います。</p> <p>そういうことで、もう本当に小学校から英語が教科になるというのも目前ですが、プログラミング教育も導入しようと。道徳も教科化になると。そういういろいろなことが入ってきて、あるいは本来家庭で今までやってきたものを学校が背負うと。だから、学校が今いろいろなものを背負う役割がどんどん増えているわけですが、一方で教員の多忙化というのも大変問題になっていて、休みがない、遅くまで学校で仕事をせざるを得ないという、そういう状況もあります。</p> <p>だけども、国のほうは教職員定数の改善はできないと。もう減らす方向だという財務省の新聞報道がございましたけれども、そういう中で、これを転換、これを救っていけるのはコミュニティ・スクールかなというのが私の最初の考えです。</p> <p>そういうことで、太東中学校区3校で2年間研究委嘱して、研究していただいて、この前発表ということになったわけですが、先ほど鹿児島先生からお話ありましたけれども、これまでは人事に関する意見の申し出があるので、なかなか導入できない。</p> <p>しかし十数年たって、実際はそれで問題になったということが今までもないということで、これはそんなに問題ではないのかなというのが大体そのように広まってきて、一方で校長先生にとっては、学校運営を進めるのに地域の承認を得ないとできないということ、これも大きな課題だったけれども、これもそういう問題はほとんどないということで、今これから大きく進むのだろうなと思っているのですが、私は校長会で先生方に話しているのは、ぜひ校長先生がこういう子どもを育てたいとか、こういう力をつけたいとか、こういう学校をつくりたいというときに、自分のブレンになる地域の方を学校運営協議会で考えたらどうだと。</p> <p>それから困ったときの相談役、例えばこういう苦情が来て困ったなど。例えばある中学校で、自転車の乗り方が悪いとか、よくお叱りを受けますけれども、あれもなかなか学校で一生懸命指導しても、地域に出ると、なかなか今度は子ども見られないので、それはやっぱり地域として役割を担ってほしいよと、そういうような困ったときの相談役、あるいは地域の情報を、いろいろな情報を校長先生に入れてもらえる学校運営協議会とか、そういういろいろな校長の立場で考えていけば、そんなに難しく考えるよ</p>

りはメリットが多いという話を今しているところですが、29年度に今のところ全ての学校で導入できるように準備をしていただいています、一番大事なことは、学校運営協議会の委員の方をどのようにするかということがそれは大事な事かなというふうに思っています。

先ほどお話あったように、やっぱり多種多様な方が入っていただいたほうがいいだろうし、またいろいろな役職がある人だけじゃなくて、子どもに対して真剣に考えていただく方も入っていただいたほうがいいだろうし、親の考えをきちんと話せる方もお願いしたいなど。

そういうことから、今準備を進めていただいていますので、これからいろいろな困難なこともありますけれども、前へ進んでいけるのではないかなというふうに思っております。

コミュニティ・スクールは、簡単に言うと学校運営協議会をつくればコミュニティ・スクールですけど、学校運営協議会ができたからコミュニティ・スクールだと、どうしてもやっぱり形骸化してしまうので、本当の意味でのコミュニティ・スクールというのは何なのかというのを、もう少し私どもも詰めていって、示していきたいと思っているところです。

以上でございます。

田中議長

今5人の教育委員会の皆さんにご意見を伺ったわけでございます。コミュニティ・スクール、学校運営協議会を設置している学校ということですが、何か私自身の受けとめ方から見ると、ちょっと一般の方々は、何か難しいことをやっているような、あるいは難しいことを言わなければいけないような、そんな協議会みたいなことで、ちょっと誤解している点があるように思います。

もともとを考えれば、日本が、明治新政府がきちっとできて、その後日本の今のそういう仕組みができたというのと、あるいは第二次世界大戦後に、日本の国力が乏しかったということがあったからだとこのように思います。改めて教育の重要性を、このコミュニティ・スクールをどうするのかということ議論するとき、我が国が行っている教育の重要性を歴史から見ても、大事なことをやっていくのだということを改めて認識をするのだと、しなければいけないというふうに思っています。

特に鹿児島先生のお話に出た学校応援団、私はスタートはそれでいいと思っています。どうも教職員の任用をどうするとか、学校の校長の基本方針を承認するのが仕事だとかという、それだけでも頭痛くなって嫌になってしまうという人が、このメンバーに選ばれた人からそんな発言も聞いております。

ただ学校を応援するというのは、久喜においてもずっと昔からこのことは当たり前のこととして地域の方がやってきましたし、学校がその地域の

中心的な役割を担ってきたというのは、今も昔もこれからも変わらないわけであります。学校を応援していくのだと。子どもたちを健全育成に導くための一つのツールがこの学校運営協議会の設置であり、コミュニティ・スクールだということを理解してもらうことを、これからもPTAの保護者の方や、あるいは学校の先生方にも求めていかなければならないと思っています。

教職員の任用に関して、柔軟な意見というのか、来ているというお話を承って、ちょっとその点についてはほっとしているわけでございます。

今回コミュニティ・スクールについて、「無理であると」「できっこないよ」と言っている方がいます。そういう人は真面目な人です。このとおり突き詰めて考えちゃうから、「学校の運営について校長が決めたやつは、逆らうなんかとんでもないよ」とか、ましてや「教職員の任用に関して、反対だとか賛成なんてわからんよ、ふだん一緒にいるわけじゃないのだから」みたいな言い方をする方もおられました。

ただ、今回のいの一番に太東学園の地域を認定した、選んだということは、やっぱりすごいなと私は思いました。

やっぱり太田小学校、古い伝統の地域から新しくいろいろな人が区画整理が終わって、いろいろな人が出てきた。でも、シンボルで、中心的役割を担っている、昔からのあそこにお住まいの方、お孫さんとか曾孫も行っている。

あるいは東小学校のほうに、どちらかという新しく開けてきた地域の方々、そこに一部の下早見地区の子どもたちが通っている。それが太東中学校という中でのコミュニティ・スクール、モデルケースとしては本当に一番いい場所を選んだのではないかなというふうに思っております。

これから市内の全ての小学校、中学校にコミュニティ・スクールを設置していくと。そんな方針がこのたび教育長から改めて示されたわけでございます。

簡単なことではありませんけれども、ゆっくりやればいいと思うのです。余り急がないでいいと思うのだけれども、ただコミュニティ・スクールは、何だ、こんなもんだったのだというような、変に誤解する、曲解する、楽に考えちゃうようなことがあってはいけないなと思うのです。

やっぱりそれは学校の教職員の方も含めて、PTAの保護者の方がおっしゃるようなことも含めて、繰り返し、繰り返しコミュニティ・スクールの持つ教育の大切さということを、繰り返し私はやっていかなければならないと思っています。それができれば、久喜市ではもともと教育に対して熱心な人が集まっておりますので、心配することはないだろうと思っています。

まだ始まったばかりと申しませうか、コミュニティ・スクールについ

田中議長	<p>ではこれからと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>一通り皆様方にご意見をいただきましたけれども、これもちょっと発言したいということがあれば、どうぞ。いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う人あり〕</p> <p>それでは、コミュニティ・スクールにつきまして、各委員さんのご意見を承ったところであります。今後ともこのコミュニティ・スクールにつきましては、改めてご意見を承りたいというふうに思っております。</p> <p>それでは、今日予定した（３）については全て終了いたしました。</p>
------	---

（４）その他

田中議長	<p>次に（４）その他でございます。</p> <p>まず次回以降のテーマでございますけれども、次のテーマについて、何かご意見はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「なし」と言う人あり〕</p>
田中議長	<p>一つの案として、コミュニティ・スクールなど、地域と学校のかかわりをテーマとして今後意見交換していくということもあろうかと思いますが、事務局は何かありますか。</p>
山崎企画政策課課長補佐	<p>市長と教育委員の皆さんでこういった意見交換をする場ということで開催している総合教育会議ですけれども、例えばですが、青少年の健全育成、こういった部分ですとか、あるいは市のほうで、要保護児童に対する支援、児童虐待等についての取り組み等もやっているところでございます。</p> <p>また、昨今いじめ等の問題というのも報道等でもございますので、どれがということではないのですけれども、そういったところをテーマとして今後進めていっていただければどうかということで、事務局としては案として提案をさせていただきたいと思っております。</p>
田中議長	<p>ただいま事務局から、青少年の健全育成とか、あるいは要保護児童、虐待とか、いろいろ新聞等をにぎわす事件がこのところ報道されておりますけれども、そういったものはどうだという提案でありましたけれども、いかがでしょうか。</p>

	〔「結構です」と言う人あり〕
田中議長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、次回につきましては青少年の健全育成、あるいは要保護児童に対する支援等々についてのことについて意見交換するというにさせていただきますと存じます。</p> <p>ほかに委員の皆様方から何か質問はございますか。</p> <p>はい、坪井委員さんどうぞ。</p>
坪井委員	<p>今避難の子どもが不登校になっている問題がテレビなどで大変話題になっておりますので、久喜市の不登校問題がどういう状況になっているかについて説明をいただいて、話し合ってみてはどうかと思います。</p>
田中議長	<p>では、次回、市内の不登校の関係で意見交換と申しましょうか、データも集めていただいて、説明をお願いします。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。</p>
	〔「はい」と言う人あり〕
関口企画政策課長	<p>そうすると、3つということよろしいですか。</p>
田中議長	<p>今、後から1つ案が出ましたので、要保護児童と、それから不登校、この2つでいかがですか。</p>
関口企画政策課長	<p>かしこまりました。</p>
鹿児島委員	<p>青少年健全育成にもかかわります。</p>
田中議長	<p>どちらにもかかわります。テーマとしては要保護児童に対する支援と、それからただいまの不登校の問題ですね。</p> <p>その他として他に事務局から何かありますか。</p>
山崎企画政策課課長補佐	<p>事務局からよろしいでしょうか。</p> <p>総合教育会議の今後のスケジュールのことを一つお知らせさせていただきますと思います。</p> <p>総合教育会議につきましては、児童の生命ですとか、あるいは身体の保</p>

	<p>護、こういった観点から緊急に開催する用件、こういったものがない場合、今年度につきましては、本日の会議が最後の会議となります。</p> <p>来年度につきましては、当面の予定でございますけれども、また5月下旬から6月ぐらいにかけて、第1回目の会議のほうを開催させていただきたいと考えております。また、開催の際には改めて皆様にご案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上になります。</p>
田中議長	<p>年に2回の協議としているわけでございます。ほかの自治体のこの会議の実施状況ですが、2回もしくは3回と聞いています。</p>
関口企画政策課長	<p>その位ようです。</p>
田中議長	<p>大体この程度が多いようでございます。また状況を見ながらこの会議を進めてまいりますけれども、今年度はこれで終了と。次回につきましては、6月ごろということでご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>ほかはないようでございます。それでは、以上をもちまして議長の任を解かせていただきます。</p> <p>司会にお返しします。</p>
司会（関口企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p>

5 閉 会

司会（関口企画政策課長）	<p>次回の会議でございますけれども、要保護児童の関係、また不登校の関係、こちらにつきまして協議・調整を実施したいと思っております。</p> <p>日程につきましては、先ほど申し上げましたとおり来年の5月末から6月を予定しておりますので、時期が参りましたら改めて調整いたしまして、ご連絡を差し上げますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成28年度第2回久喜市総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>大変お疲れさまでございました。</p>
--------------	---

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。（注）

平成28年12月16日

久喜市長 田中 暄二

久喜市教育委員 狩野 和也

（注）特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。